

第3学年 図画工作科学習指導案

日時 令和4年5月25日(水)第5校時
対象 第3学年3組 32名
授業者 田中 悠紀
会場 1階 図画工作室

研究主題

めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成
～キャリア教育を通して～

1 単元名

「みらいにタイムスリップ！」

2 単元の目標

自分の将来の夢や願いから、想像を広げて絵に表すことを通して、思考力、判断力、表現力を培う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分が夢をかなえた場面を思い浮かべたり、動きで表したりしながら、その場面に合ったポーズと、形や色の感じがわかっている。 ・描画材料を使った経験などを生かしながら、夢をかなえた場面にあった表し方を工夫している。	将来の自分を想像し、夢をかなえた場面を思いつき、どのように描き表すかを考えている。	自分の夢を絵に表すことを楽しもうとしている。

4 単元設定の理由

(1) 教材について

本単元で扱う内容は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

A 表現 (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。

A 表現 (2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

共通事項 (1) 「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。

イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

本単元は、自分の夢について想像し絵に表す単元である。図画工作の授業におけるキャリア教育として、ふさわしい題材であるといえる。自分の夢を絵で表すことで、その夢への思いを強くすることができたり、イメージを形にする達成感が味わえたりするのではないかと考える。中学年の児童は、自分の夢について、高学年の児童に比べて、他の人の目を過度に気にすることなく、楽しく語る傾向がみられるため、中学年で設定した。

「自分のよいところを見つける力」【自己理解・自己管理能力】を発揮しながら、ワークシートから画用紙へと段階を踏みつつ、自分の夢について考え（「次のことを考える力」【キャリアプランニング能力】）、絵に表す際には、ペアの友達にポーズをとってもらうことで、人の体の動きを見て参考にしながら描く活動を取り入れた。「人」を描くことが難しいと考える児童の苦手意識を軽減させるためである。それに伴い、自分の将来の夢が、どんなポーズだと、自分の思いに合うよう絵に表せるか考え、ペアの友達にどうしたら伝わるか考えながら伝えることで、「聞く・伝える力」【人間関係・社会形成能力】を培うことができると考えた。

（２）児童の実態

3年3組では、担任の村上教諭により、キャリア教育の実践を春から日常的に積み重ねてきている。一人ずつ、「本気で夢をかなえよう」というタイトルで、自分の好きなことや夢を言葉で書いたものが教室に掲示してあり、一人一人の自分の夢への思いが伝わってくる。また、班ごとに「この夢どんな人がかなう？ どうしたらかなう？」と、警察官や保育士など、班で1つの職業について詳しくまとめた実践も掲示してある。教室の前には「夢をかなえる3つの方法 1強く思う 2研究する 3行動する」などの掲示物が常時、掲示している。このように、日常的な積み重ねにより、自分の夢についての意識の高い児童であるといえる。

また、図画工作科の授業については、意欲的な児童が多い。1学期末、図画工作科の授業について、3年生以上の児童にアンケートをとった中で、特に3年3組のこの授業に関係のあるものについて述べる。以下がアンケートの項目と結果である。

- ① 図画工作は好きですか？
- ② 絵は好きですか？
- ③ 工作は好きですか？
- ④ 図画工作の時間で、自分のよいところに気づくことができましたか？
- ⑤ 図画工作の時間で、ともだちのよいところに気づくことができましたか？

- ① 「とても好き」が74%、「好き」が23%、あわせて97%という多数が肯定的な回答をしていた。
- ②③絵が「とても好き」が71%、工作が「とても好き」が81%で、どちらも高めだが、工作の方が好きな児童が多い。
- ④ 自分のよいところに気づくことが「よくできた」という児童は29%、「できた」という児童は39%で、低めであり、図画工作科の時間で自分のよさに気づくことは、今後の課題といえる。
- ⑤ 「よくできた」という児童は55%、「できた」という児童は13%であり、「自分」と比べると、「友達」のよいところに気付くことができている児童が多いという結果だった。

以上のことから、図画工作科に前向きな児童が多く、絵よりも工作を好み、その一方で、図画工作科の時

間、自分のよさに気付くということは、今後の課題である。

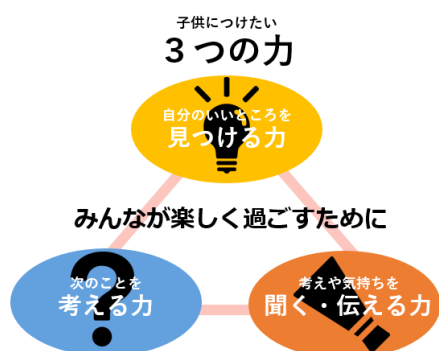
3年3組の児童は、言葉で夢について書く経験は積み重ねてきているが、自分の夢について、絵で表すことはしていないので、本単元にあたり、改めてワークシートを用意することとした。

また、なかには職業などはっきりと決められない児童がいることも想定し、焦らせることなく、「これからどんなことをやってみたいか」「どんな大人になりたいか」などを前向きに考える機会となればよいと考える。そのような児童や、今後夢が変わる児童がいることも考慮して、気軽に取り組める小さめの八つ切りサイズの画用紙に描くことにした。

5 研究主題「めあてに向かって意欲的に学び、考える児童の育成」に迫るための手立て

(1) ワークシートをもとに、自分が夢をかなえた場面を絵に表しながら育む 「次のことを考える力」

本単元における「次のこと」とは、ワークシートから本番の画用紙であり、また将来の夢のことでもある。自分の夢を詳しく考えるワークシートを用意し、想像を広げ、絵に表すことを通して、自分の将来について考える機会としたい。



(2) 友達とお互いに、自分の夢についての思いを伝え、ポーズをとってスケッチすることを通して育む「聞く・伝える力」

ペアの友達にポーズをとってもらい、人の体を描くことへの苦手意識を軽減し、夢をかなえた自分の姿を描く活動を取り入れた。

それに伴い、自分の将来の夢が、どんなポーズだと、自分の思いに合うよう絵に表せるか考え、友達にどうしたら伝わるか考えながら伝える機会として欲しい。また、友達の思いを聞いて、ポーズをとり、共にこの活動に意欲的に取り組んで欲しい。

6 単元計画 5時間

	時	学習活動	評価規準 ●キャリア教育の視点
構 想 を 練 る	45分	大人になって、やりたい仕事やチャレンジしたいことを表そう ○自分の将来の夢について考え、話し合う。 ○表したい場面の絵の構想を練る。	●将来の夢について考え、近くの児童や全体で話し合わせ、表現への関心・意欲を高める。 「自分のよいところを見つける力」 【自己理解・自己管理能力】 「聞く・伝える力」 【人間関係・社会形成能力】 「次のことを考える力」 【キャリアプランニング能力】

			<p>●ワークシートに、・自分の夢 ・とくに絵にかきたい場面 ・服装や持ち物 ・場所 ・その時の気持ち などを言葉や絵で描いて、構想を練る。</p> <p>「自分のよいところを見つける力」【自己理解・自己管理能力】 「次のことを考える力」 【キャリアプランニング能力】</p> <p>主 将来の夢を表すことに関心・意欲をもっている。</p> <p>・必要に応じ、タブレットで、夢の職業の服装や持ち物などの画像を調べる。</p>
表 す	45 分	<p>友達に、自分の夢を伝え、絵に描きたい場面のポーズをとってもらい、スケッチしよう。</p> <p>○友達とペアを組み、自分が夢をかなえたポーズをしてもらい、スケッチする。(本時)</p>	<p>・ワークシートにかいた内容をもとに、似た夢のペアをあらかじめ組み、席につく。</p> <p>●友達に、自分の夢や、絵に描きたい場面のポーズを伝え、ポーズをとってもらおう。</p> <p>「自分のいいところを見つける力」【自己理解・自己管理能力】 「聞く・伝える力」 【人間関係・社会形成能力】 「次のことを考える力」 【キャリアプランニング能力】</p> <p>思 表したいことをもとに、夢をかなえた場面のポーズや周りの様子などを考えている。</p>
	90 分	<p>スケッチをいかして、自分が表したいイメージに合うように、表し方を工夫しよう。</p> <p>○自分が表したいイメージがよく表現できるように、周りの様子を描く。</p> <p>○自分が表したいイメージがよく表現できるように、色の塗り方を工夫する</p>	<p>●えんぴつ、クレヨン、絵の具を基本としつつ、ペン、色鉛筆、パステルなども使ってよいこととし、描画材を選択し表現する。</p> <p>「次のことを考える力」 【課題対応能力】</p> <p>知 自分が表したいイメージになるように、色の表し方を工夫している。</p>
鑑 賞	45 分	<p>みんなで、おたがいの作品を見せあって、よいところや工夫したところを伝え合おう。</p>	<p>●仕上がった作品を見せ合うことを伝え、名札や鑑賞の「いいねカード」を書き、自分や友達のよさや工夫したところを見つけ認め合う。</p> <p>「聞く・伝える力」 【人間関係・社会形成能力】 「自分のよいところを見つける力」【自己理解・自己管理能力】</p> <p>思 友達と作品を見せ合い、互いのよさや違いに気づき認め合っている。</p>

7 本時

(1) 本時のねらい

- ・自分が夢をかなえた場面を、想像して絵に表す。
- ・友達と、相互に自分の夢について伝え、ポーズをとってスケッチする活動をいかし、工夫して絵に表す。

(2) 本時の展開 (2/5)

	学習活動 ○主な発問	指導上の留意点 ◇評価規準 ★研究主題に迫るための手だて
導入	<p>○自分の夢の絵を描くために、前の授業でかいたワークシートを振り返ろう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分がゆめをかなえた場面を絵にあらわそう</p> <p>・本時の流れを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートにかいた内容をもとに、似た夢でのペアをあらかじめ組み、席につく。 ・八つ切り画用紙を配布。記名しておく。 ・前時のワークシートを振り返る。
展開	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分のゆめを友達につたえて、ポーズをとってもらい、スケッチしよう</p> <p>○友達に、自分の夢を伝え、絵に描きたい場面のポーズをとってもらい、スケッチしよう。(えんぴつ)</p> <p>・かく人とモデルなど、分かりやすく伝える。</p> <p>○友達の夢をよく聞いて、ポーズをとろう。</p> <p>・隣の友達とペアを組み、自分が夢をかなえたところのポーズをしてもらい、スケッチする。</p> <p>・人の動きの参考のため、友達のポーズを見て描くが、「自分」を描くことを確認する。</p> <p>・かく人とモデル スケッチ 5分 タブレットで撮影 2分 交代して</p> <p>・モデルとかく人 スケッチ 5分 タブレットで撮影 2分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢をかなえた自分」をいきいきとかくため、ポーズをとってもらい、スケッチすることを確認する。 ★友達に、自分の夢や、絵に描きたい場面のポーズを伝え、ポーズをとってもらい、スケッチをする。 「自分のよいところを見つける力」 【自己理解・自己管理能力】 「聞く・伝える力」 【人間関係・社会形成能力】 「次のことを考える力」【キャリアプランニング能力】 ◇【主】自分の夢を友達に伝え、そのポーズをスケッチすることに意欲的に取り組んでいる。

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> スケッチをいかして、ゆめをかなえた自分の絵をくふうしてかこう。 </div>	
	<p>○スケッチをいかして、それぞれ、ゆめが かなった自分の絵をかこう。周りの 様子などもかこう。 (えんぴつ、クレヨン)</p>	<p>◇【思】表したいことをもとに、夢をかなえた場面の ポーズや見る方向、周りの様子などを考えている。 ◇【知】スケッチをいかして、表し方を工夫している。</p>
ま と め	<p>○スケッチをいかして、ゆめをかなえた 自分の絵を、くふうしてかけたかな？ ・かたづけ</p>	<p>・次の時間にむけて、意欲をもたせる。</p>

(1)材料、用具、場の設定

教師：ワークシート、ハツ切り画用紙

児童：筆箱、クレヨン、タブレット

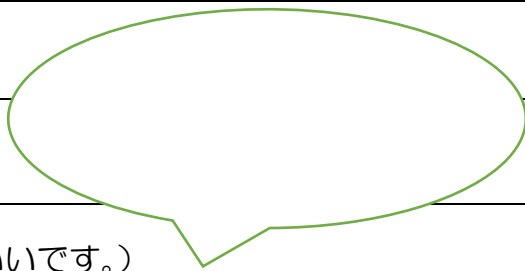
図画工作室内は、不要な机を廊下に出すなど、なるべくスペースを確保する。

みらいにタイムスリップ！ 3年 くみ 名まえ

自分がゆめをかなえた^{ばめん}場面を、絵にあらわそう。まず言葉でかんがえてみよう。

自分のゆめ	
とくに絵にかきたい ^{ばめん} 場面	
ふくそう・もちもの	
^{ばしょ} 場所	

ゆめをかなえたときの気もちは？ ふきだしにかいてみよう。



絵でかいてみよう。^{がようし}(画用紙は、たてでもよこでもいいです。)

ペアの友だちへ、つたえるときヒント

自分は _____ している絵をかきたいので _____ ポーズをしてください。

成果と課題

①ワークシートをもとに、自分の夢をかなえた場面を絵に表す活動は、「次のことを考える力」の育成に有効だったか？

成果

- ・ 一人一人が自分の思いをしっかりと持っているので、ワークシートをきっかけに絵として表現することをためらう児童がいなかった。
- ・ ワークシートに言葉で表してから描くことで、何もないところから描くよりも、ゴールがぶれなかった。
- ・ ワークシートの項目「特に絵にかきたい場面」が、本時の友達にポーズをとってもらおうようお願いするところにつながっていてよかった。
- ・ 児童が楽しそうに取り組んでいた。

課題

- ・ 研究授業のクラス含め、3年生3クラスで取り組んだが、ワークシートに自分の夢について言葉で書くところから、つまづく児童が数名いた。自分の将来について前向きに考えていくことは、大切な課題である。

②友達とお互いに、自分の夢についての思いを伝え、ポーズをとってスケッチする活動は、「聞く・伝える力」の育成に有効だったか？

成果

- ・ 自分の好きなこと、夢について語る活動は、児童が楽しそうで、いきいきとした表情だった。友達に「伝えたい」と思える活動だった。
- ・ 短時間で自分の夢を伝え、そのポーズを友達にとってもらうことは、難しい活動だと思うが熱心に取り組んでいた。
- ・ 「かく人」が困っていても、「モデル」から、「こんな感じ？」「ここからの方がいい？」と提案することもあり、互いに伝えよう、聞こうという思いが見られた。
- ・ 図画工作の時間、共同作品作りでない場合、自己との対話が多くなるものと思っていたが、今日の授業では自分の思いを相手に伝える場面が設定されていてとても興味深かった。場の設定の工夫がよかった。

課題

- ・ ポーズをとってスケッチする活動で、隣の友達を見ずに、服や道具を先に描いている児童が数名いたため、事前に優先事項を確認する必要がある。
- ・ 描く時間をより確保するため、説明を簡潔にする必要がある。